

03 地域でできる対策

環境整備が大切になります。

- 定着させないために、生息場所となりうるヤブなどの刈り払い
- 餌場と認識させないために、廃棄作物（農作物の残りかす）の適正除去
- 被害を防止するために、畑の周りに電気柵などを設置



本来は森林やヤブの中で生息する動物です

森林やヤブに沿って移動し生息地を拡大します

ヤブや使われていない畑の草を刈り払っておくとイノシシの移動を制限することができます

イノシシにとって農作物はただの餌に見えてしまいます。農作物の残りかすを放置するとイノシシがその地域に住み着くことがあります

畑の周りを電気柵のような柵で囲うことで農作物を守り定着を予防することができます

いま行う対策が、将来の地域全体の被害軽減につながります
イノシシから地域を守りましょう!

04 市が実施している対策事業

イノシシ捕獲事業

猟友会の協力のもと、定期的な捕獲活動を実施しています。

協力者 県猟友会石岡支部千代田部会
県猟友会霞ヶ浦支部

捕獲実績

平成31年4月～令和2年1月までの捕獲頭数

- ・千代田地区 118頭
- ・霞ヶ浦地区 39頭

狩猟者免許取得手数料などの助成

イノシシなどを捕獲するために必要な、狩猟免許取得費用の一部を助成（予算の範囲内）します。

捕獲内容 わな猟免許申請手数料および予備講習会費用（合格者のみ）

対象者 市内に住所を有し、有害鳥獣捕獲活動に貢献することができる方



電気柵や防護柵の設置に対する経費の助成

イノシシなどによる農作物被害を防止する対策として、電気柵や防護柵を設置する費用の一部を助成（予算の範囲内）します。

捕獲内容 被害防止柵の資材の購入に要する経費

対象者 市内に住所を有し、農業を営んでいる方で、設置しようとする柵に囲われた農地の面積が500㎡以上である方

01 イノシシってどんな生き物？

特徴

- 本来昼行性 → 人間を避けて夜行性に
- 模範学習能力があり、とても賢い
- どこに餌や畏があるかなどを覚えており、優れた記憶力をもつ

身体能力

- 1日の移動距離は1.2km程度
- 1mを超える跳躍能力をもつ
- 最高時速50km、鼻の力あり（70kgでも持ち上げる）
- 臭覚が鋭いが、視力は0.2程度で青色以外の色はあまり認識できない

繁殖

出産期 春と秋
妊娠期間 約120日
最長寿命 10歳程度

食性

雑食性
塊茎、塊根などのデンプン質の高いえさを好む

性格

とても神経質で臆病な性格のため、物音などで驚いて逃げる時は、視力が悪いこともあり、人や物に突進してくる場合があります

生息地

森林やヤブの中
近年では、市街地でも見かけられるようになっている



市ホームページ



02 普段の生活で注意すること

イノシシの痕跡を見かけたら、近くにイノシシがいる可能性が高いため、注意してください。



イノシシの糞（そら豆型）



イノシシの通り道（獣道）



イノシシの足跡
(通常)

イノシシの足跡
(地面がやわらかいとき)

もしもイノシシに出会ったときは

- ①何もしてこないようなら、そのまま通り過ぎるのを待ちます。近づいてきた時は、慌てずゆっくりと後ずさりしてください。
- ②追いかけて、石を投げないでください。
- ③イノシシの子供を見かけても近づいたり、追いかけてください。近くに母親イノシシがいる可能性があります。



特集 イノシシを知る



近年、農作物の被害がなかった地域でのイノシシの出没が多数報告されています。今回、イノシシの特徴などを知っていただき、皆さんが注意すべきこと、市が実施している対策事業で農作物の被害軽減するための対策について掲載します。

図 農林水産課（霞ヶ浦庁舎）